

## 令和4年度補正予算「品目団体輸出力強化緊急支援事業」報告書

## 1. 事業実施者名：一般社団法人青果物輸出促進協議会

(会員名：株式会社日本農業)

## 2. 実施国名（地域名）

台湾

## 3. 背景

日本産りんごにとって台湾は約130億円（2022年）という最大の輸出マーケットであるため、弊社にとってもそのマーケットの更なる拡大に寄与することは輸出5兆円の目標達成にあたり大変重要である。

台湾において、日本の文化を深く理解している食品事業者や消費者は多くなく、彼らがより精力的に日本産りんごを取り扱う又は日本産りんごの購買意欲が高まるためには、各者による日本産りんごの理解を深めてもらうことが重要と考え、これらを対象としたプロモーション活動を行った。

## 4. 内容

## (1) プロモーション

① 品目名：りんご

② 実施期間：2024年1月7日～3月30日

③ 店舗名：

Wholesale Market

(Changhua, YiShihChongCing, SanChongSinSin, HsinchuBaguoyuan, JhongCingRongJi, Changhua Song, TainanSanPin, FongShanJiaGuo)

④ 概要：

- ・説明会の会場において日本産りんごの商品紹介を実施。
- ・市場において日本産りんごやりんごジュースの試食・試飲会を実施。

⑤ 結果：説明会はインポーターの顧客である卸売御者や小売業者を対象に招集し、合計118名が来場。会場では、日本の農業の現状や弊社の青森県におけるりんご生産（高密植栽培）の状況も含め、複数品種（サンふじ、王林、シナノゴールド、葉とらずサンふじ）を説明した。来場者からは、今まで（株）日本農業を通じて日本産りんごを購入していた一方、弊社が日本最大の高密植栽培を営んでいること等を知らなかったため、現状を知ることができたとのコメントがあった。なお、従前は台湾マーケットでの取り扱いがなかったシナノゴールドについて、本取組によりその味や香りを紹介した結果、その販売額の増加につなげることができた。

また、台湾の主要な7つの市場において、輸入品を扱っていない業者や一般の消費者といった幅広い層をターゲットとし、日本産りんごの試食会やりんごジュースの試飲会を実施。各市場で50社以上が訪れた。日本産りんごは、4種類（サンふじ、王林、白ふじ、有袋ふじ）、りんごジュースは3種類を用意し、他国産のりんご果実やりんごジュースとの違いについて理解を深めてもらった。本取組の結果、取引数が従前より10%以上増加し、日本産りんごの輸出額増加につなげることができた。今後ともこのような地道なPR活動を継続することで、日本産りんごのマー

ネット拡大に貢献したい。

## 5. 活動写真

### (1) 説明会の会場において日本産りんごの商品紹介を実施



### (2) 市場において日本産りんごやりんごジュースの試食・試飲会を実施





▲日本産りんごの試食会の様子



▲日本産りんごジュースの試飲会の様子

以上